


受賞者氏名	福井 恒明	
所属	デザイン工学部都市環境デザイン工学科	
受賞年月日	2024.6.14	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	公益社団法人土木学会	
受賞名	令和5年度土木学会出版文化賞	
受賞(研究)内容詳細	<p>書籍「土木デザイン ひと・まち・自然をつなぐ仕事」著者:福井恒明、佐々木 葉、丹羽 信弘、星野 裕司、末 祐介、二井 昭佳、山田 裕貴、福島 秀哉(学芸出版社、2022年)に対して、令和5年度土木学会出版文化賞が授与された。</p> <p>授賞理由</p> <p>土木学会では、2001年に土木学会デザイン賞を設け、秀でた事業を表彰してきた。その20周年の年である2020年から過去の受賞事業に関わった関係者を招き、土木デザインを進めるための要点について議論するトークセッションズを開催している。本書は、その記録を再構成し、受賞事業を題材に土木デザインとは何かを具体的に示したものである。歩道橋から災害復旧・復興まで多彩な事業を取り上げ、事業の計画・設計・施工・維持管理の各段階で、発注者、受注者だけでなく住民や有識者が参画してインフラ整備に地域の歴史、自然、街並み、生活、未来への思いなどを反映させて事業の質を向上させる土木デザインの実践を紹介し、そのエッセンスを横断的に記述している。</p> <p>土木事業はインフラの本来機能に着目して効率的に進めることが基本といえる。しかし、それだけでは単機能で無機的なものができ、とすると地域住民に背を向けた、あるいは自然、環境を軽視したものになってしまう。これに対して土木デザインは、地域の歴史、生活、自然などとの関わりにも深く留意したインフラ整備を実現する行為であることを本書は示している。</p> <p>本書は、土木事業がひと・まち・自然を有機的につなぎ、地域の価値を大きく高めうることを著しており、土木の役割と可能性を問う書籍といえる。よって、ここに土木学会出版文化賞を授与する。</p> <p>授与機関のウェブサイト https://committees.jsce.or.jp/pub_prize/R05</p>	